

令和元年 1 2 月 2 6 日

令和元年度第 9 回定例松本市教育委員会

会 議 議 案

松本市教育委員会

令和元年度第9回定例松本市教育委員会付議案件

[議案]

- 第1号 学校給食費について
- 第2号 令和元年度松本市公民館活動推進功労者について

[報告]

- 第1号 令和元年松本市議会12月定例会の結果について
- 第2号 令和元年度「地区の皆さんと語る会」の開催結果について
- 第3号 宇宙関連事業講演会の開催結果について
- 第4号 松本市教育訪問団の台湾高雄市訪問事業について
- 第5号 食物アレルギー講演会の開催結果について
- 第6号 まつもと子ども未来委員会による市長提言及び活動内容について

[周知事項]

- 1 令和2年松本市成人式の開催について
- 2 未来へつなぐ 私たちのまちづくりの集い～第35回公民館研究集会
令和元年度地域づくり市民活動研究集会～の開催について
- 3 発掘された松本2019—松本市遺跡発掘報告会の開催について
- 4 ラウル・デュフィ展の開催について
- 5 松本市美術館館長アートレクチャーの開催について

[その他]

議案第 1 号

学校給食費について

1 趣旨

松本市学校給食費会計事務処理規程第3条に基づき、令和2年度からの学校給食費について協議するものです。

2 学校給食費の現状

小学校 日額 280円、月額 4,530円（給食日数194日）

中学校 日額 330円、月額 5,230円（給食日数190日）

※ 月額及び給食日数は東西センターで定めるもの

3 経過及び状況

裏面のとおり

4 令和2年度からの学校給食費について

(1) 学校給食センター運営委員会の議論

令和元年11月29日開催の第2回松本市学校給食センター運営委員会では、食材価格の上昇や給食の質の更なる向上など、一部に改定要因があるものの、公会計化による食材費予算の確保、他市の状況、軽減税率の適用などから、学校給食費の改定を行わないという判断になりました。

(2) 教育委員会の方針

学校給食センター運営委員会での議論を受け、教育委員会としては、次年度の学校給食費については、据え置くこととします。

担当 学校給食課
課長 清澤 秀幸
電話 86-1130



「学都松本」

経過及び状況について

1 給食費改定の経過

(単位：円)

年度	小学校	中学校
H 8	2 4 2	2 8 7
H 2 1	2 5 2	2 9 7
H 2 6	2 8 0	3 3 0

※ 平成 2 6 年度の給食費改定では、消費増税等を考慮して、1 食あたり約 1 1 % の引き上げを実施し、以降、3 年ごとに見直すこととしました。

2 学校給食及び給食費の状況

- (1) 松本市の給食の栄養価を学校給食摂取基準と比較すると、概ね基準どおりの数値を維持しています。
- (2) 学校給食の調査では、多くの児童・生徒が学校での給食を楽しみにしており、おいしいと感じて食べていると回答し、現状における満足度は充足しています。
- (3) 消費者物価指数のうち食料については、前回の改定時から上昇を続けている現状にあります。
- (4) 令和元年 1 0 月に消費税が 1 0 % へ改定されましたが、食材料費の大部分は軽減税率が適用となり、増税の影響は極めて限定的です。
- (5) 学校給食費の収納率は 9 9 % 台を保っており、保護者からは学校給食費に対する理解が得られています。
- (6) 令和 2 年度からは、学校給食費の公会計化に伴い、予算として計上された額のすべてを食材費に充てることが可能となります。
- (7) 学校給食費を県全体や県内 1 9 市の状況と比較すると、平均値をやや上回っています。

教育委員会資料
元. 12. 26
生涯学習課・中央公民館

議案第 2 号

令和元年度松本市公民館活動推進功労者について

1 趣旨

松本市公民館活動推進功労者感謝状贈呈内規に基づき、令和元年度松本市公民館活動推進功労者について協議するものです。

2 目的

市の公民館活動推進のために功労のあった者に対して感謝状を贈呈することにより、市民の公民館活動への関心を高め、公民館活動の振興を図ることを目的としています。

3 推薦基準

- (1) 公民館の非常勤職員又は公民館運営審議会委員として6年以上在職し、退職または退任した者
- (2) 公民館委員として8年以上在職し、退任した者
- (3) 上記のほか、特に公民館活動推進のため尽力したと認められる者

4 功労者（候補者）

計26名 別紙功労者（候補者）名簿のとおり

5 感謝状の贈呈

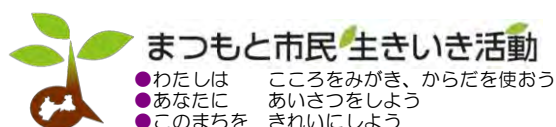
「未来へつなぐ 私たちのまちづくりの集い ～第35回公民館研究集会 地域づくり市民活動研究集会～」のなかで、感謝状を贈呈します。

(1) 日時

令和2年2月16日（日） 9時30分から10時まで

(2) 会場

松本市中央公民館（Mウイング）6階ホール



担当 生涯学習課・中央公民館
課長 栗田 正和
(直通32-1132)

松本市公民館活動推進功労者感謝状贈呈内規

(目 的)

第1条 この内規は、永年、市で設置する公民館の（以下「公民館」という。）活動推進のために功労のあった者（以下「功労者」という。）に対し、感謝状を贈呈することにより、市民の公民館活動への関心を促し、もって公民館活動の振興を図ることを目的とする。

(功労者の推薦基準)

第2条 功労者の推薦基準は、次のとおりとする。

- (1) 公民館の非常勤職員または公民館運営審議会委員として6年以上在職し、退職または退任した者。
- (2) 公民館委員として8年以上在職し、退任した者。
- (3) 前2号に定める者のほか、特に公民館活動推進のため尽力したと認められる者。

(功労者の推薦及び決定)

第3条 功労者の推薦は、中央公民館長及び各地区公民館長が行い、松本市教育委員会が決定する。

(感謝状の贈呈)

第4条 感謝状の贈呈は、原則として年1回開催される公民館研究集会において松本市教育委員会が行う。

附 則

この内規は、昭和63年12月17日から施行する。

この内規は、平成8年12月19日から施行する。

この内規は、平成29年4月1日から施行する。

令和元年度松本市公民館活動推進功労者名簿

No.	氏 名	推薦館	役 職	在 職 期 間
1	かさはら くみえ 笠原 久美枝	第二地区	・ 非常勤職員	H13. 4. 1 ～ H31. 3. 31 (18年)
2	そふえ りつこ 祖父江 律子	第二地区	・ 地区公民館長	H19. 4. 1 ～ H25. 3. 31 (6年)
3	すぎうら まさる 杉浦 勝	第二地区	・ 運営委員	H20. 4. 1 ～ H31. 3. 31 (11年)
4	はまだ けんいち 浜田 憲一	第三地区	・ 運営委員	H21. 4. 1 ～ H31. 3. 31 (10年)
5	やなぎさわ はるお 柳澤 春雄	城東	・ 館報編集委員	H23. 4. 1 ～ H31. 3. 31 (8年)
6	きぬかわ いさむ 衣川 勇	城東	・ 館報編集委員 ・ 体育委員 ・ 運営委員 ・ 文化委員	H13. 4. 1 ～ H20. 3. 31 , H25. 4. 1 ～ H31. 3. 31 (13年) H11. 4. 1 ～ H31. 3. 31 (20年) H13. 4. 1 ～ H25. 3. 31 (12年) H14. 4. 1 ～ H17. 3. 31 (3年) 計20年
7	はらた たけくに 原田 武邦	城東	・ 地区公民館長	H25. 4. 1 ～ H31. 3. 31 (6年)
8	やまなか ふみこ 山中 生美子	田川	・ 文化委員	H19. 4. 1 ～ H31. 3. 31 (12年)
9	あさわ みよこ 浅輪 美代子	田川	・ 文化委員	H21. 4. 1 ～ H31. 3. 31 (10年)
10	いけがみ まさたか 池上 昌孝	田川	・ 地区公民館長	H25. 4. 1 ～ H31. 3. 31 (6年)
11	なかむら あけみ 中村 あけみ	庄内地区	・ 非常勤職員	H18. 4. 1 ～ H31. 4. 30 (13年1月)
12	まるやま としこ 丸山 利子	島内	・ 館報編集委員	H16. 4. 1 ～ H31. 3. 31 (15年)
13	ふじもり よしお 藤森 喜雄	島立	・ 館報編集委員	H19. 4. 1 ～ H30. 3. 31 (11年)
14	しおはら かずお 塩原 和男	神林	・ 体育委員 ・ 運営委員 ・ 文化委員	S62. 4. 1 ～ H1. 3. 31 (2年) H3. 4. 1 ～ H5. 3. 31 , H29. 4. 1 ～ H31. 3. 31 (4年) H23. 4. 1 ～ H25. 3. 31 (2年) 計8年
15	うえはら あきら 上原 章	神林	・ 館報編集委員 ・ 文化委員 ・ 運営委員	H21. 4. 1 ～ H27. 3. 31 (6年) H27. 4. 1 ～ H29. 3. 31 (2年) H29. 4. 1 ～ H31. 3. 31 (2年) 計10年
16	つかだ まさあき 塚田 昌明	神林	・ 運営委員 ・ 体育委員 ・ 館報編集委員	H1. 4. 1 ～ H3. 3. 31 , H13. 4. 1 ～ H15. 3. 31 (4年) H3. 4. 1 ～ H5. 3. 31 , H29. 4. 1 ～ H31. 3. 31 (4年) H17. 4. 1 ～ H18. 3. 31 (1年) 計9年
17	あさだ よしやす 浅田 芳保	神林	・ 運営委員	H23. 4. 1 ～ H31. 3. 31 (8年)
18	ももぜ しげとし 百瀬 茂敏	神林	・ 館報編集委員 ・ 体育委員 ・ 運営委員	S49. 4. 1 ～ S58. 3. 31 (9年) S63. 4. 1 ～ H3. 3. 31 (3年) H9. 4. 1 ～ H11. 3. 31 , H29. 4. 1 ～ H31. 3. 31 (4年) 計16年

19	とくたけ まさひこ 徳武 雅彦	芳川	・ 体育委員	H23. 4. 1 ～ H31. 3. 31 (8年)
20	ほんま まこと 本間 信	寿台	・ 体育委員	S51. 4. 1 ～ H31. 3. 31 (43年)
21	さくらい けんじ 櫻井 健司	今井	・ 体育委員	H5. 4. 1 ～ H31. 3. 31 (26年)
22	みやした つねお 宮下 常雄	本郷	・ 視聴覚委員	H15. 4. 1 ～ H30. 3. 31 (15年)
23	おおひら しげこ 大平 滋子	本郷	・ 館報編集委員	H23. 4. 1 ～ H31. 3. 31 (8年)
24	ももせ みつお 百瀬 光男	四賀	・ 地区公民館長	H25. 4. 1 ～ H31. 3. 31 (6年)
25	かつやま ゆうこう 勝山 裕康	奈川	・ 地区公民館長	H25. 4. 1 ～ H31. 3. 31 (6年)
26	あおき ただたか 青木 忠孝	梓川	・ 地区公民館長	H25. 4. 1 ～ H31. 3. 31 (6年)

教育委員会資料
元. 12. 26
教育政策課

報告第 1 号

令和元年松本市議会 12 月定例会の結果について

1 趣旨

松本市議会 12 月定例会の結果について報告するものです。

2 会期等について

12 月 2 日（月）から 19 日（木）まで 18 日間

一般質問 12 月 9 日（月）から 11 日（水）まで 3 日間

教育民生委員会 13 日（金）

3 教育民生委員会の審査結果について

(1) 審査内容

ア 議案第 9 号 市有財産の取得について

【内容】松本城南・西外堀復元事業用地として、松本市城西 2 丁目 3 番 25
183.60 m²を取得（14,871,600 円）

イ 議案第 28 号 公の施設の指定管理者の指定について（池上百竹亭）

【内容】指定管理者：公益社団法人松本地域シルバー人材センター
（R2.4.1～R6.3.31）

(2) 委員からの主な質疑等

ア 議案第 9 号

・質疑等なし（ただし、用地取得の進め方に一部反対あり。）

イ 議案第 28 号

・質疑等なし

(3) 集約結果

議案 2 件について、原案どおり可決すべきものと決しました。

4 教育民生委員協議会

(1) 協議事項：松本市新科学館基本計画の策定について

昨年 11 月に策定された「新科学館基本構想」を踏まえ作成した「松本市新科学館基本計画」の素案について協議しました。

<主な意見等>

・新科学館の運営について、PPP／PFI 導入可能性調査の業務委託先及び、建設後のランニングコストも含めた財政シミュレーションについて質問があり、委託先は建設技術研究所であること、財政シミュレーションについては継続可能な運営となるよう今後検討を進めていくと答弁しました。

・屋上のドーム天体望遠鏡の活用と、奈川の高ソメキャンプ場天文台との連携について質問があり、望遠鏡については今後も活用していくこと、高ソメキャンプ場天文台との連携については、連携が可能か調整を図ると答弁しました。

(2) 協議事項「観光施設事業（松本城）に係る経営戦略の策定について」

総務省が地方公営企業の改革に向けた取組みとして、経営戦略の策定を地方自治体に要請したことなどを受け作成した、中長期的な基本計画である松本市観光施設事業（松本城）経営戦略（案）について協議しました。

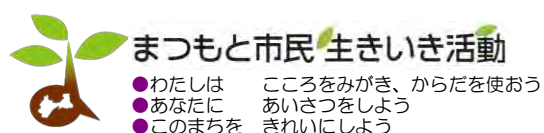
<主な意見等>

・指定管理者制度の導入について、他の国宝城での実績の有無について質問があり、姫路城が導入していると答弁しました。

・経営と保存の2面から、松本城の適正な入場者数をどう考えるかとの質問があり、教育委員会としては、保存面から、現状の年間80万人程度が限度と考えていると答弁しました。

・キャッシュレス化について質問があり、庁内の検討委員会で松本市全体として考えていくと答弁しました。

担当	教育政策課
課長	小林 伸一
電話	33 - 3980



「学都松本」

報告第 2 号

令和元年度「地区の皆さんと語る会」の開催結果について

1 趣 旨

上記について、その結果について報告するものです。

2 日時及び参加者数

(1) 本郷地区

ア 日 時 8月29日(木) 19時から20時30分

イ 参加者数 34人

(2) 城北地区

ア 日 時 11月21日(木) 19時から20時30分

イ 参加者数 23人

3 懇談テーマ

(1) 子どもをとりまく環境

(2) 文化財と地域づくり

4 アンケートの集計結果等について

(1) 本郷地区(回答18人 回収率53%)

ア 全体評価について(とても満足、やや満足の回答は、全体の56%)

とても満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	とても不満
3人	7人	6人	2人	0人

- ・スマホの課題、問題点についてのお話は参考になった。
- ・スマホの問題については、もっとゆっくり聞きたかった。
- ・短時間では答えの出ない事。何回も話題にすべき。
- ・地域の皆さんがどのような意見をお持ちか聞けてよかった。

イ 懇談について

(テーマがあった方がよい44%、フリートークの方がよい28%)

テーマがあった方がよい	フリートークの方がよい	無回答
8人	5人	5人

- ・今現在の身の周りの課題、現状をとらまえた課題
- ・参加する方からどんなテーマが良いか把握したらどうか。

ウ 本市の教育全般に関する意見・提言等

- 教育委員会という身構えてしまう傾向にあると思う。この様な機会を多く開設したらどうか。
- 社会全体で子ども達を育てる。その為には、親、先生、地域で何をすべきか、協力して考えるべき。

(2) 城北地区（回答 11 人 回収率 48 %）

ア 全体評価について（とても満足、やや満足の回答は、全体の 64 %）

とても満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	とても不満
4 人	3 人	3 人	1 人	0 人

- ・現在の子どもをとりまく環境がよくわかり勉強になった。
- ・今後子ども達に対してインターネット等のあつかいを考えさせられた。
- ・問題点に対する解決に向けての話し合いの場がもてなかった。
- ・テーマごとに好みの方へという進め方

イ 懇談について

（テーマがあった方がよい 91 %）

テーマがあった方がよい	フリートークの方がよい	無回答
10 人	0 人	1 人

- ・地域と共に歩む学校
- ・活発な子供を育てるには。

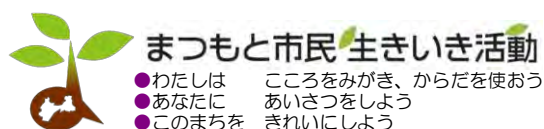
ウ 本市の教育全般に関する意見・提言等

- (ア) 子どもの学力不足（生きる力）を広く共有できるはたらきかけを。
- (イ) 現状の教育に関しては、出来過ぎている気がする。教育現場の方々がもう少し肩の力が抜ける現場になればと思う。

5 今後について

- (1) 子育て世代を含め幅広い年齢層の方々に参加いただけるよう、開催時間や周知方法について引き続き検討します。
- (2) 教育委員会の取組みを広く市民に知っていただけるよう、内容等検討しながら、今後も継続して開催します。

担当	教育政策課
課長	小林 伸一
電話	33-3980



報告第 3 号

宇宙関連事業講演会の開催結果について

1 趣旨

小中学生をはじめ、市民が宇宙をより身近に感じ、興味・関心を高めてもらうため、標記講演会を開催しましたので、その結果について報告するものです。

2 講演会の概要

- (1) 演題 「月探査の未来へ ～202X年、日本人月に立つ?～」
- (2) 日時 令和元年11月30日(土) 13時30分から14時50分まで
- (3) 会場 松本市教育文化センター 3階 視聴覚ホール
- (4) 講師 寺藺 淳也 氏(会津大学企画運営室及び先端情報科学研究センター准教授)
- (5) 対象 小学校高学年から成人

3 開催結果

(1) 参加者集計

今年度参加者数 (A)	昨年度参加者数 (B)	参加者増減(A-B)
95人	112人	17人減

(2) アンケート集計

裏面のとおり

4 今後について

新科学館の整備を見据えて、多くの市民や子ども達が宇宙への興味・関心をより一層深めていけるよう、プラネタリウム事業等との関連も考えながら事業内容等について検討していきます。

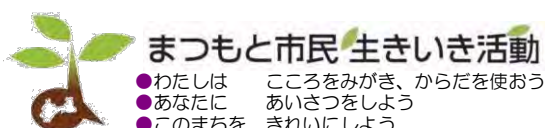
担当

教育政策課 課長 小林 伸一

電話 33-3980

教育文化センター 所長 加藤 政彦

電話 32-7600



1 講演会アンケートのまとめ

回答総数 40人(回答率42.1%)

項目	細目	人数	人数計
年代	10歳未満	1	40
	10歳代	9	
	20歳代	1	
	30歳代	1	
	40歳代	9	
	50歳代	5	
	60歳代	7	
	70歳代	5	
	80歳代	2	
	不明	0	
地区	松本市内	33	40
	松本市外	7	
	不明	0	
企画・運営について	よい	38	40
	ふつう	0	
	よくない	0	
	不明	2	
継続開催の希望	希望する	39	40
	希望しない	0	
	どちらともいえない	1	

2 主な感想、意見等

1	夢と希望だけでなく、現実的な話がよかったです。
2	日本人がやがて独自に宇宙飛行士を月に送る日がやってくることを楽しみにしているひとりです。それまで生きていたいな！
3	大変親しみやすい講師の方でおもしろかった。でも、途中で難しくてよく分からないところもあった。お部屋が全体的に暗くなって寝ている方もいた。前方だけ電気を消せるといいと思った。アンケートの性別欄には、「その他」を入れて下さい。
4	宇宙を身近に感じられ、とても良かったと思います。
5	宇宙開発事業の実態を知る良い契機となった。宇宙開発には様々な問題があり、多くの論点で論じることが可能だ。多くの分野のエキスパートのお話を聞く機会があればと思う。
6	月の話をあまり聞く機会がなかったので、面白かった。
7	毎年楽しみにして、参加しています。今後も楽しみにしています。
8	月探査についてあまり知らなかったなので、今の月探査について詳しく知ることが出来たので、良かったです。今後も、このような講演を是非行ってほしいです。
9	お話がとても面白かったです。
10	分かりやすく聞きやすかった。少しペースが早かった。(メモが間に合わず)毎年、宇宙関連の講演を楽しみにしていますが、身近な山(火山)や逆に深海の話も聞いてみたい。(他の時期でも可)
11	月探査について、科学的・技術的にわかった事についても聞きたかった。
12	分かりやすい月探査のお話でした。楽しかったです。これから興味をもって、月のニュース、毎晩の月を見ていけそうです。ありがとうございました！これからもこういった講演会をたのしみにしています！市長さんがかわっても続けてほしいです。
13	都内の大学に通っている大学生の息子に聴かせたかったです。次回は、帰省中に開催してほしい。
14	年に一度くらいこのような講演会を聴きたい。
15	寺蘭先生の書いた本を、買って読みます。ありがとうございました。
16	その他地学、地質、岩石、地層のテーマで新しいブースの設置をお願い致します。
17	科学の進歩が分かり面白かった。
18	このような分野を深くは知らないが、とても興味があったので、足を運びました。自分の進路を決める時期なので、このような方面もあるのだなと、新しい考えが浮かびました。ありがとうございました。
19	話を聞いた後のプラネタリウムは良い。

報告第 4 号

松本市教育訪問団の台湾高雄市訪問事業について

1 趣旨

台湾高雄市との間で交わされた「健康・福祉・教育分野の交流に関する覚書」に基づき、次代を担う中学生の国際感覚の醸成を目的として、交流事業を実施しています。

事業の一環として松本市側交流モデル校5校（鎌田中学校、旭町中学校、松島中学校、開成中学校、波田中学校）の代表生徒を主とした松本市教育訪問団が高雄市を訪問し、交流するものです。

2 事業内容

(1) 期日

令和2年1月6日（月）～10日（金）4泊5日

(2) 訪問団人数 26名（予定）

ア 教育長（団長）

イ 交流モデル校の代表生徒 20名

ウ 職員等 5名

(3) 交流内容

ア 高雄市教育局表敬訪問

イ 高雄市側交流校訪問（大仁国民中学校、福誠高級中学校）

ウ 高雄市内の施設等を見学

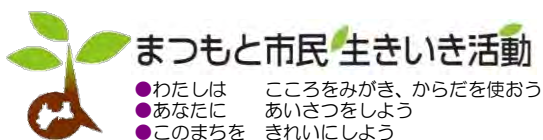
3 今後の予定

令和2年2月 帰国報告会

担当 学校指導課

課長 高野 毅

電話 33-4397



「学都松本へ」

教育委員会資料
元. 12. 26
学校給食課

報告第 5 号

食物アレルギー講演会の開催結果について

1 趣旨

本市が先駆的に取り組んでいる食物アレルギー対応食について、食物アレルギーの一層の理解を深めるとともに、対応食解除に向けた取組みを推進するため、標記の講演会を開催しましたので、その結果について報告するものです。

2 主催

松本市教育委員会、松本市（後援：松本市医師会）

3 開催概要

- (1) 日時 令和元年12月8日（日） 13時20分から17時00分まで
- (2) 会場 松本市勤労者福祉センター 大会議室
- (3) 対象者 食物アレルギーを持つ園児・児童・生徒の保護者、学校関係者等
- (4) 内容

ア 基調講演Ⅰ

講師 医療法人（社団）みのしまクリニック 院長 蓑島宗夫 氏
演題 「食物アレルギー～最近の進歩～」

イ 基調講演Ⅱ

講師 昭和大学医学部小児科学講座 管理栄養士
小児アレルギーエデュケーター 長谷川実穂 氏
演題 「食物アレルギーの食事と管理」

ウ パネル展示

食物アレルギーに対する松本市の取組み紹介

4 来場者数

223人（一般201人、関係者22人）

5 参加者の感想

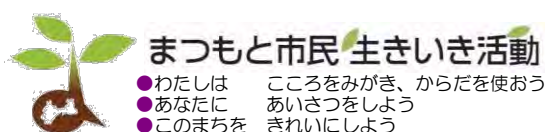
- (1) 食物アレルギーが起きる原因と、食物ごとの注意点が理解でき、とても有意義な講演だった。
- (2) 数年前の情報と異なることが多々あり、このような講演がなければ分からないことがあったので、聞くことができてよかった。

- (3) 離乳食を進めているが、アレルギーのメカニズムや注意点など聞くことができ、これからも安心して離乳食をすすめることができそう。早くこのお話を聞きたかった。
- (4) 栄養面がおきざりにされている自分に気が付くことができた。子どもの手が離れる前に、できることに積極的に取り組む勇気がでた。母の気持ちを代弁されたお話は涙がでた。
- (5) 食物アレルギー卒業に向けて、積極的に的確な治療を頑張っていこうと思わせてくれるような講演だった。
- (6) 食べられるということがどれだけ大事か分かった。今はほんの少ししか食べられないが、解除に向けて頑張っていこうと思う。

6 今後について

- (1) 定期的な講演会の開催等により、食物アレルギーに関する最新の正しい知識を普及し、食物アレルギーの解除に向けた取組みを継続していきます。
- (2) 引き続き安全にアレルギー対応食を提供することで、食物アレルギーを持つ児童生徒及び保護者の支援をしていきます。

担当	学校給食課
課長	清澤 秀幸
電話	86-1130



報告第 6 号

まつもと子ども未来委員会による市長提言及び活動報告について

1 趣旨

松本市子どもの権利に関する条例に基づき設置している、まつもと子ども未来委員会の第5期の児童生徒が、第36回松本市青少年健全育成市民大会・「松本市子どもの権利の日」市民フォーラムで、まちづくりに関する市長提言及び活動報告を行いましたので、その概要について報告するものです。

2 実施日

令和元年12月1日（日）

3 実施場所

勤労者福祉センター

4 参加者

(1) まつもと子ども未来委員会委員 31名中17名

※委員会の概要は、別紙1のとおり

(2) まつもと子ども未来委員会サポーター（大学生） 10名中5名

(3) 市発言者5名（市長、教育長、教育部長、健康福祉部長、こども部長）

(4) 一般市民 173人

5 発表内容（詳細は別紙2・3のとおり）

(1) 松本市が現在取り組んでいる事業についての市長提言

ア 市役所新庁舎建設事業について

イ 新博物館建設事業について

ウ 受動喫煙防止対策事業について

(2) 活動報告

第1期からの委員会で市に提言した「自分たちができること」の実践報告

ア 環境活動

イ PR活動

6 子どもたちの感想

- ・具体的なコメントをもらったり、活動の内容を褒めてもらいうれしかった。
- ・子どもの意見を言うなんて無理だと思ったけど、聞いてもらえてうれしかった。
- ・多くの人前で発表して良い経験になった。
- ・学校でも子どもの権利について伝えていきたい。

担当 こども育成課
課長 青木 直美
Tel 34-3291



子どもたちに笑顔を、子どもたちから笑顔を、そして子どもたちと笑顔に



第5期まつもと子ども未来委員会について

1 趣 旨

子どもにやさしいまちづくりを一層進め、子どもの意見表明や参加の促進を図るため、まつもと子ども未来委員会を開催するものです。

2 内 容

子どもたちが、学校、地域、年代を越えて、市政や地域の課題について学び、解決に向けて意見交換をするなど、活動をとおして自分たちが住むまちへの意識を高め、松本のまちづくりを子どもたち自らが考えます。

3 活動期間

平成31年4月～令和2年3月

4 委 員

松本市内在住・在学又は活動している小学5年生から高校1年生31名

5 主な事業

(1) 子ども未来委員会の開催と活動発表

ア 学習会 16回（1カ月に1～2回程度）

イ 施設見学会 1回（8月）

ウ まちづくりについて市に提言 12月

(2) 他都市との子ども交流事業に参加

6 第5期の活動

(1) 活動1

松本市が今取り組んでいる事業について、みんなで学び話し合い、自分たちの考えを市へ提言する。

・市役所新庁舎建設事業 ・新博物館建設事業 ・受動喫煙防止対策

(2) 活動2

第1期から第4期までの委員会で、みんなで学び話し合って、市に提言した「自分たちが出来ること」を、この委員会で実際に活動し、市へ報告する。

・環境活動班（ゴミ拾い活動）・PR活動班（ポスター作成・パンフレット）

市長提言及び活動報告内容について

1 市長への提言

(1) 市役所新庁舎建設事業

テーマ 「安心・安全 ～市民に寄り添う庁舎～」

新庁舎建設事業の基本的な考え方を学習し、実際に庁舎の中を見学しました。どんな世代の人にも使いやすくすることや、通路を広く取り各課の表示を統一すること、市民が行きやすいと思える庁舎ということを考えました。

課 題	提 言
1 市民が安心できるスペース不足	子どものためのスペース設置 市民同士、市民と職員の交流スペース
2 職場環境	資料保管スペースの確保 防犯・防災を意識した物の置き方
3 松本らしさとは	木材を利用する イメージカラーの緑を取り入れる

(2) 新博物館建設事業

テーマ 「分かりやすく」「楽しく」「使いやすく」

松本全体を屋根のない博物館として捉え、その中心となる博物館という考え方を学習し、実際の現在の博物館の展示物を見学しました。子ども向けの説明文や、小さい子どもも楽しめるものがあればいい、説明映像にクイズがあれば面白いという意見が出ました。

項 目	提 言
1 分かりやすく	説明文を見やすく スマホやタブレット等を使用した解説
2 楽しく	定期的なイベントの開催 フォトスポットの設置 スタンプ・クイズラリーの参加
3 使いやすく	歩きやすい配慮 来館者が疲れないための工夫
4 共通事項	多国語・点字表記 パンフレットの製作 博物館オリジナルキャラクターの公募

(3) 受動喫煙防止対策事業

考え方「喫煙者が減れば、受動喫煙の回数自体が減り、根本的な解決につながる。」

受動喫煙による害などについて学習し、松本駅前の受動喫煙防止対策の状況を見学しました。たばこは、周りの人に害を及ぼすことに驚いたことや地域・商店街の皆さんのおかげで、綺麗になっていると初めて知った。という意見が出ました。

項 目	提 言
1 灰皿の設置場所の工夫	人通りのある場所に灰皿があるから、喫煙者が増える。人通りの少ない場所に灰皿を設置すれば喫煙者が減る。
2 禁煙マークの工夫	足元にあるマークを目線の高さにする。デザインや色・字の大きさを工夫する。
3 喫煙可能な時間帯の規定	人がたくさん行き交う時間は吸ってはいけない等の規則をつくる。(人通りが多いところ)

2 活動報告

第1期から第4期までの委員会で市に提言した「自分たちが出来ること」を、委員会で実践し、取り組み状況を中間報告。

(1) 環境活動

ゴミの分別方法やゴミ拾いの注意点について学習し、あがたの森通りの歩道のゴミ拾いを実践しました。今後はポイ捨て防止の呼びかけや、未来委員会の活動を伝えていきます。

(2) P R (観光)活動

図書館や観光情報誌で松本の観光や歴史について学習し、松本の歴史と文化の観光P Rについて子ども目線で考えました。現在松本の美しい自然を季節ごと紹介するポスターの図案を作成中です。

3 サポーター（大学生）からの一言

子どもたちが自ら学習や話し合いを行うなど、色々なことを子どもたちから学びました。

4 市関係者からのコメント

(1) 菅谷市長

- ・提言にあたってのプロセスが素晴らしい。大変まとまった内容だった。
- ・君たちも、まちづくりに参画できる一員・メンバーであることを改めて自覚して欲しい。
- ・市役所新庁舎について、防犯・防災を意識した物の置き方などの考え方をしているところが素晴らしい。
- ・基幹博物館の分かりやすい説明というのは、大事なことを指摘してくれた。
- ・すべての要望を聞くのは難しいが、必要最低限のお金で、子どもたちに喜んでもらえる施設を造っていきたい。
- ・受動喫煙防止について、人通りが多い時間は、たばこを吸わないように決めるという案は、とても良い案である。

(2) 赤羽教育長

- ・皆さん自身が考えようと取り組んだことがすごい事であり、これからもその気持ちを大切にしてほしい。
- ・今年は、サポーターが加わったが、サポーター自身も「色々なことを学びました」という発

言があり、みんなで考えていこうという表れですごくいいこと。サポーターに敬意を表する。

- ・市役所新庁舎建設について、大人だけが使うのではもったいないという発想や新博物館建設では、見るだけ、解説を読むだけではなく、もっと体全体で感じて楽しさを味わいたいという思い。また、受動喫煙防止対策事業について、時間帯の規定という発想は、スクールゾーンの発想と重なって、場所と時間を組み合わせてルールにしたいという思いで、それぞれ素晴らしい。
- ・中間報告としての活動報告については、環境活動は、1人でもできるということを増やして行ってほしい。PR活動は、子どもの目から見た観光地を「おすすめ松本子ども百選」みたいなものを提案してほしい。

(3) 山内教育部長

- ・新庁舎建設事業と基幹博物館の建設事業について、松本市が進めている将来世代のハード整備事業で、子ども目線による今回の提言は、非常に有意義であると考えている。
- ・新庁舎建設及び新博物館建設の提案について、工夫しながら考えていきたい。

(4) 樋口健康福祉部長

- ・受動喫煙防止は政策の1つとして、一定のルールを作っていくという考えで進めており、たばこを吸ってはいけない場所として、松本駅前を受動喫煙防止区域にしました。
- ・禁煙マークの工夫は、ぜひ皆さんに分かりやすい禁煙マークを考えて欲しい。
- ・喫煙可能な時間帯の規定について、吸えない時間を設定するというのは非常に良い考えなので、今後検討したい。

(5) 村山こども部長

- ・どの提言も「子どもの視点」に立ち、非常に考えるべきものが多かったと感じている。
- ・新庁舎と博物館は、いずれも「使いやすい」というキーワードがありました。いずれの施設も身近な物と捉え「自分たちが使うにはどうするのがよいのか」自分たちが使う立場になった提言で非常に感心した。
- ・こども部長という立場から未来委員会について、みんな忙しい中、活動を続け、今日の提言を見事に成功させ本当にすごい、将来が楽しみと思いました。
- ・とても大事だと思ったのは、グループで話をして1つの結論を出した経験は、必ず将来に役だつと思う。

【提言の様子】



令和元年12月1日

「まつもと子ども未来委員会」 の活動報告・市長提言



(第5期) まつもと子ども未来委員会

まつもと子ども未来委員会とは…

目的は？

- 「松本市子どもの権利に関する条例」による、子どもにやさしいまちづくりを進め、子どもの意見表明や参加の促進を図るため開催しています。

誰が？

- 市内在住・在学・活動している11歳（小学5年生）から18歳（高校3年生相当）までの子どもで、学校からの推薦ではなく自分で応募し、学校、地域、年代を越えて、活動しています。

何を
しているの？

- 松本市の取組みや地域の課題について学び、話し合い、活動をおして自分たちが住むまちへの意識を高め、松本のまちづくりを自分たちで考えます。



未来委員会のマークについて



松本と松本の自然と
大切にしたい(今の中
に松本、山と太陽)
笑顔でいっぱい
したい(Kodomoの
目が笑顔)



未来委員会7か条

- 1 自分の考えを持つ
- 2 他の人の意見をしっかり聞く
- 3 互いを認め合う
- 4 積極的に取り組む
- 5 コミュニケーションを大切にする
- 6 松本をよく知る
- 7 楽しく委員会に参加する

第4期の未来委員会が
自分たちで考えました。



第5期の未来委員会

- 活動期間
平成31年4月～令和2年3月（1年間）
これまでに13回委員会を開催

- 委員
31人（小学生14人、中学生15人、高校生2人）
このうち、13人が、第4期から委員会を継続



第5期の未来委員会 のスローガン

「松本と共にある 未来を描こう」



市民サポーター初参加！

- 今年度（第5期）から、大学生（10名）によるサポーターが未来委員会を応援してくれています。



第5期の活動について

1 「市への提言」

松本市が今取り組んでいる事業について、みんなで学び話し合い、自分たちの考えを市へ提言します。

2 「提言の実践報告」

第1期から第4期までの委員会で、みんなで学び話し合っ、市に提言した「自分たちが出来ること」を、この委員会で実際に活動し、市へ報告します。

※ 今回は、実践の中間報告を行います。



1 「市への提言」について



提言に向けた活動

松本市が、今取り組んでいる事業について、みんなで学び話し合い、自分たちの考えをまとめる。

市役所
新庁舎
建設事業

新博物館
建設事業

受動喫煙
防止
対策事業



進め方

1 学習・話し合い

市の事業について
担当者の人から話を聴く
自分たちの意見を話し合い



2 現場見学

現場を見学して
感じたことなどについて話し合い



3 提言のまとめ

自分たちの視点で
これまで話し合ったり
感じたことについて
提言としてまとめ



市への提言 1

市役所新庁舎建設について
安心・安全 ～市民に寄り添う庁舎～



市役所新庁舎建設事業

「基本的な考え方」

- 1 分かりやすさ、使いやすさを実感できる庁舎
- 2 松本城と共に時を刻む庁舎
- 3 コミュニケーションが芽生える庁舎

「松本市らしい」庁舎を一緒に考えてみませんか！



政策課

みんなの意見等

- どんな世代の人にも使いやすくする。
- 市役所が古い建物だということに驚いた。
- 共に時を刻む庁舎 共に生きるの素晴らしいことだと思う。
- コミュニケーションが芽生える庁舎 (先進的な取り組みで面白い)



提言にあたり

学習・話し合い

- ・どんな世代の人にも使いやすくする。
- ・市役所が古い建物だということに驚いた。
- ・松本城の近くに建てることに賛成

現場を見て

- ・もっとスペースを広くして、利用しやすくした方がよい。
- ・通路を広くとり、各課の表示を統一すると分かりやすくなる。
- ・市民が行きやすいと思える庁舎



課題・考えたこと



1. 市民が安心できるスペース不足
2. 職場環境
3. 松本らしさとは？



提 言

1. 子供のためのスペース設置
市民同士、市民と職員の交流スペース
2. 資料保管スペースの確保
防犯・防災を意識した物の置き方
3. 木材を利用する
イメージカラーの緑を取り入れる



市への提言2



新博物館建設事業

分かりやすく

楽しく

使いたい



新博物館建設事業

「どんな博物館？」

松本全体を屋根のない博物館として捉え、その中心となる博物館

市立博物館



みんなの意見等

- 個人向けアプリ（チケットの販売等）
- また行きたくくなるような博物館
- 松本は自然が多いのでそれを展示する。
- 子どもの事も考えているのが良い。



提言にあたり

学習・話し合い

- ・個人向けアプリ（チケットの販売等）
- ・まだ行きたくないような博物館
- ・子どもの事も考えているのが良い。

現場を見て

- ・説明文は、子ども向けのものを作った方がいい。
- ・クイズに正解すると、シールをもらえれば、小さい子どもも楽しめる。
- ・説明する映像に、キャラクターやクイズを入れるといい。



課題・考えたこと



- | | | |
|--------------------|--------------|----------------|
| 分かりやすく | 楽しく | 使いやすく |
| ・説明文を見やすく | ・定期的なイベントの開催 | ・歩きやすい配慮 |
| ・スマホやタブレット等を使用した解説 | ・フットボールの設置 | ・来館者が疲れないための工夫 |
| | ・スタンプラリー参加 | |

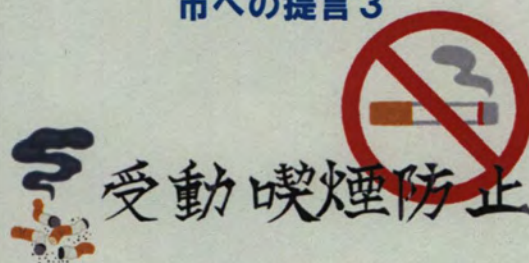


提言

- | | | |
|------------|-------------|-------------------|
| 分かりやすく | 楽しく | 使いやすく |
| ↓ | ↓ | ↓ |
| ・文字を大きくする | ・ノーマルは視覚障害者 | ・少し柔らかいじ。 |
| ・音画や動画での解説 | ・開催中 | うたをしく |
| ・通訳 | ・音声ガイドを利用する | ・スロープやエスカレーター等の設置 |
| | | ・売店や休憩所等の設置 |
- 示通して
多言語表示表記とする
- パンフレット製作 各都道府県オリジナルキャラクターの公募



市への提言 3



受動喫煙防止対策事業

「受動喫煙のないまちを目指して」

市・市民(観光客なども含む)・事業者で協力し合い、未来を担う子どもたちに受動喫煙のない社会を残す。

健康づくり課

みんなの意見等

- ・未成年は、たばこを吸うのは禁止なのに、たばこの煙を吸わされてしまう。
- ・喫煙率が以前よりも低いことに驚いた。
- ・タバコは吸っている人だけではなく周りの人に害を及ぼすことに驚いた。



提言にあたり

学習・話し合い

- ・未成年は、たばこを吸うのは禁止なのに、たばこの煙を吸わされてしまう。
- ・喫煙率が以前よりも低いことに驚いた。
- ・タバコは吸っている人だけではなく、周りの人に害を及ぼすことに驚いた。

現場を見て

- ・地域や商店街の皆さんの力で、綺麗になっていると初めて知った。
- ・喫煙防止のため、心に残るキャッチフレーズを考える。
- ・新たな喫煙者を作らないようにする社会へ



課題・考えたこと



考え方

喫煙者が減れば、受動喫煙の回数自体も減り、根本的な解決につながる。



提言

灰皿の設置場所の工夫

・通りのすぐそばに灰皿があるから喫煙者が増える。人通りが少ない場所に灰皿を設置すれば喫煙者が減ると考えた。

禁煙マークの工夫

・足元にあるマークを目線より高くする。デザイン・色、字の大きさも工夫する。

喫煙可能な時間帯の規定

・1日中いつでもタバコが吸えるのは、1日中タバコが吸えないのは、どちらも人通りが多いところ。



2 「提言の実践報告」について

第1期から第4期までの委員会で、みんなで学び話し合っ
て、市に提言した「自分たちが出来ること」を、この委員
会で実際に活動し、市へ報告する取組み。
※ 今回は、実践の中間報告を行います。



実際に行う活動について

みんなの意見

【チラシを作って配る】

・自分で作って配って呼びかけたい。

【PR活動】

・自分たちが松本についてよく考えられるから。

【ゴミ拾い、川の清掃活動】

・活動を通して普段見られないものを見られるから。

↓
「環境活動」と「PR（観光）活動」を行う。



環境活動

- 1 学習
ゴミの分別方法やゴミ拾いの注意点について学習
- 2 実施範囲
あがたの森文化会館～八十二銀行深志支店までの
あがたの森通りの歩道
- 3 実施内容
歩道の植栽の中に、タバコの吸い殻や
プラスチック製のカップなどがあり、
見えにくい所まで、丁寧にゴミ拾いを
行いました。



報告まとめ

目的	活動をした感想	今後について
・松本の自然を守りたい。 ・活動をすることで、ゴミを捨てる人が減るのでは？ ・環境について知るには、やってみるべきだと思った。 ・ゴミを減らしたい。	・予想よりゴミが多かった。 ・植込みの下にゴミが多かった。 ・外で活動するのが楽しかった。	・色々なところで、分別を意識したい。 ・ポイ捨て防止の呼びかけ。 ・この活動を広く伝える。



PR（観光）活動

- 1 学習
 - ・図書館などで、松本の観光や歴史について学習
 - ・観光情報誌などで、松本の観光地について調べた。
- 2 話し合い
 - ・松本の魅力について、何をどのようにPRするか。
 - ・松本の歴史、文化の観光PRについて、子どもの目線で考える。
- 3 活動内容
 - ・松本の美しい自然を春・夏・秋・冬に分けて紹介するポスターの図案を作成中
 - ・子どもに分かりやすい観光情報のPR方法を検討



報告まとめ

目的	活動をした感想	今後について
・松本の良い所を知ってもらいたい。 ・自分が知らない魅力を知ることができる。 ・市の観光PRに興味があった。	・松本の魅力を知ることができた。 ・知らなかった見所を知ることができた。 ・ポスターのデザインを考えることができた。	・松本の魅力をもっと伝えたい。 ・今回の活動を他の事でも活用したい。 ・子ども向けのPR内容を考えたい。



サポーターから一言



ご清聴ありがとうございました。



周知事項 1

令和 2 年松本市成人式の開催について

1 趣旨

大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする新成人を祝い励ますため、令和 2 年松本市成人式を開催することについて周知するものです。

2 式典概要

- (1) 日時 令和 2 年 1 月 1 2 日（日） 1 3 時～1 3 時 5 5 分
 (2) 会場 松本市総合体育館 メインアリーナ
 (3) 主催 松本市、松本市教育委員会
 (4) 企画運営 令和 2 年松本市成人式実行委員会（新成人 1 7 人）
 (5) 内容

司会：実行委員 2 名

1 3 : 0 0	開式のことば	実行委員
1 3 : 0 1	国歌斉唱	
1 3 : 0 5	主催者式辞	市長
1 3 : 1 0	来賓祝辞	市議会議長
		町会連合会会長
1 3 : 2 0	来賓紹介	実行委員
1 3 : 2 5	新成人の抱負	新成人代表（実行委員）
1 3 : 3 0	新成人の親のメッセージ	新成人の親代表
1 3 : 3 5	記念品贈呈	贈 教育長
		受 新成人代表（実行委員）
1 3 : 4 0	企画映像	実行委員会
1 3 : 5 0	ファンファーレ	松本市消防団 ラッパ隊
1 3 : 5 4	閉式のことば	実行委員

3 記念写真

卒業中学校単位で撮影 1 4 時～1 5 時（予定）

4 対象者

平成 1 1 年 4 月 2 日から平成 1 2 年 4 月 1 日までに生まれた方

	男	女	合計	
今回	1, 2 0 4 人	1, 1 3 8 人	2, 3 4 2 人	令和元年 1 0 月 1 日現在
前回	1, 1 5 0 人	1, 1 7 8 人	2, 3 2 8 人	

5 本年度の特色

(1) テーマ「繋ごう～平成から令和へ～」

新成人が「いいまち・松本」を平成から令和へ繋ぎ、新たな時代にふさわしい希望に満ちた松本市を創り上げて欲しいとの思いを込めました。

(2) 企画映像

ア 女子柔道の出口クリスタさん、バレエダンサーの二山治雄さんのビデオメッセージ
イ 平成を振り返る。

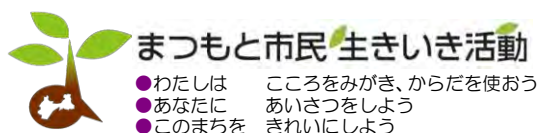
ウ 新成人の一言フリップ

(3) 記念品 オリジナル木箸（当日配付）

新成人が平成から令和への架け橋となって、地球環境にやさしい持続可能な社会を築いて欲しいメッセージを込めました。

(4) 若者の地元定着や進学などで市外に出た若者のUターンを促進するため、松本市のまちづくり、松本市の暮らしの魅力などを紹介する映像を式典前に映し、ロビーにパネルを設置します。

担当	生涯学習課
課長	栗田 正和
電話	32-1132



「学都松本へ」

一人ひとりが あたりまえのことをこつこつと続けて かけがえのないいのち 生きいきとかがやくように…

教育委員会資料
元. 12. 26
生涯学習課・中央公民館

周知事項 2

未来へつなぐ 私たちのまちづくりの集い～第35回公民館研究集会 令和元年度
地域づくり市民活動研究集会～の開催について

1 趣旨

暮らしや地域に関わる様々な実践に学び合いながら、参加者が立場を超えて自由に語り合い、これからの地域の未来をみんなで模索することを目的に開催する標記集会について報告するものです。

2 テーマ (楽しく＋前向きに) ×みんなの実践＝地域の未来

3 日時 令和2年2月16日(日) 9時30分から16時30分まで

4 会場 松本市中心公民館(Mウイング) 6階ホールほか

5 主催 松本市・松本市教育委員会・松本市地域づくり研究連絡会

6 主管 未来へつなぐ 私たちのまちづくりの集い実行委員会

7 日程

9:00	9:30～10:00	10:00～11:00	11:00～12:30	12:30～15:30	15:45～16:30
受付	開会式・表彰	基調講演	市民活動商店街 休憩・昼食	分科会	まとめの会

8 主な内容

(1) 感謝状贈呈式

長年にわたり、公民館活動にご尽力いただいた方へ、教育委員会から公民館活動推進功労感謝状を贈呈します。

(2) 基調講演

ア 講師 東京大学教育学研究科 教授 牧野 篤 氏

イ 演題 町内公民館からはじめるコミュニティづくり

(3) 市民活動商店街

地区公民館や町内公民館、市民活動団体等が、日頃の学習実践活動について自由に情報発信(パネル展示・資料頒布等)や情報交換を行い、気軽に語り合える場とします。

(4) 分科会

11の分科会を開催します。(詳細別紙チラシのとおり)

(5) まとめの会(全体会)

分科会の報告をもとに集会を振り返りと成果の確認をします。

9 周知方法

(1) 広報まつもと1月号

(2) 公民館報まつもと1月30日号

(3) 学びの森いんふおめーしょん2月号

(4) FMまつもと1月30日放送

(5) 市公式ホームページ

(6) プレスリリース

(7) チラシ



まつもと市民生きいき活動

- わたしは ころをみがき、からだを使おう
- あなたに あいさつをしよう
- このまちを きれいにしよう

担当	生涯学習課・中央公民館
課長	栗田 正和
電話	32-1132

趣旨

超少子高齢型人口減少社会を迎え、私たちは地域で生活していくうえで、様々な困難を抱えています。このような時こそ前を向き、困難を乗り越えるために楽しみながら自分に出来ることを見つけ取り組んでいくことが大切ではないでしょうか。

この集いでは、暮らしや地域に関わる様々な実践に学び合いながら、参加者が立場を超えて自由に語り合い、これからの地域の未来をみんなで模索します。

日程（予定）

9:00	9:30～10:00	10:00～11:00	11:00～12:30	12:30～15:30	15:45～16:30
受付	開会式・表彰	基調講演	市民活動商店街 休憩・昼食	分科会	まとめの会

基調講演

「町内公民館からはじめるコミュニティづくり」
 東京大学大学院教育学研究科
 牧野 篤 教授



市民活動商店街

地域づくりや市民活動を行っている団体が、それぞれの活動や思いを、「未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い」に参加する地域の皆さんに知ってもらい、協働のきっかけづくりとなるようブースを設け、それぞれの方法で情報発信します。

分科会

11 の分科会を予定しています。詳しくは内面をご覧ください。

【申込方法】

2月6日（木）までに、必要事項（氏名／住所／電話番号／参加を希望する分科会番号を第二希望まで／託児の有無／手話通訳及び要約筆記の要否／車椅子利用の有無）を最寄りの地区公民館、または集会事務局（中央公民館）へお申し込みください。

【集会事務局】

〒390-0811 松本中央 1-18-1 松本中央公民館（M ウイング 2 階）
 Tel: 0263-32-1132 / FAX: 0263-37-1153 / Email: gakushu@city.matsumoto.lg.jp

【松本市公式ホームページ】

http://www.city.matsumoto.nagano.jp/kodomo/syogaigakusyu/taikai/35_koukenshukai.html

主催 松本市・松本市教育委員会・松本市地域づくり研究連絡会
 主管 未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い実行委員会

美しく生きる。



未来へつなぐ
 私たちの
 まちづくりの集い

令和2年2月16日（日）
 松本中央公民館（Mウイング）



【分科会一覧】

1

松本の歴史・文化を次世代に伝えていくために

地域の歴史・文化を記録に残し、次世代に伝えていくことの大切さや、その方法について考えます。昭和の「まつもと」を記録した8ミリフィルムの映像を見ながら、世代や立場を超えて気軽に語り合しましょう！

2

住民で考える!元気な田舎のつくりかた

過疎化が進む田舎を元気にしようと、どこも色々な移住策を練っています。でも、それだけが問題解決の道なののでしょうか。元気な田舎にするために本当に大事なことは何か一緒に考えてみませんか？

3

ボランティアの本質を深めよう

—自分のため?人のため?このもやもや感は一切何だ!?—

ボランティアは、自分が「やりたいこと」が出发点。でもいつのまにか、苦しくなったり、辛くなったりしていませんか？その正体は一切何なののでしょうか？そんな「もやもや感」を参加者みんなで見よう！

4

SDGsって何？

—身近でひとりひとりにできるSDGsを考えよう—

SDGs（持続可能な開発目標）を自分事として捉え、明日からでも実践できる「SDGsを通じた地域づくり」を模索していきます。

5

誰もが共に学び合う地域

—障がいを知り、地域で学び合う場づくりを考えよう—

障がいがある方と、どんな風に関わったらいいんだろう？地域の方と、どんな風に関わったらいいんだろう？お互いのことを知り、共に学び合える場づくりをみんなで考えます。

（楽しく+前向きに）×みんなの実践Ⅱ地域の未来

6

もっといい話し合いしてみませんか？

当分科会では、準備のいらない読書法を楽しく体験しながら、「もっといい話し合い=対話」について考えます。

7

理想の交通って…?in 松本

人に優しい未来の松本市の交通について大学生と一緒に話し合い、ワクワクするような住みよい街について考えてみませんか？

8

町内公民館の可能性を考えよう！

—お互いに支え合う身近なコミュニティを目指して—

松本市のまちづくりを支えてきた「町内公民館の活動」。現在も様々な取組みが展開され、「多世代交流の場」「居場所づくり」のひとつとして大切な「身近な拠点」の可能性を、みんなで考えましょう。

9

観光を活かしたまちづくりって？

担い手不足や空き家の増加等の地域課題を解決するための手段として、観光によるまちづくりがあります。その手法や魅力を実践事例を通して学び合い、今後のまちづくりを考えます。

10

平和な社会って何だろう

平和な社会を創るためにできる事は？

戦争の記憶をどう伝え受け継ぐか、日々の暮らしの中で平和はどのように意識されているのか。憲法、人権、身近な生活など自由に語ることができる場とし、平和な社会を創るってどういうことなのか考えます。

11

公民館が、住民の自由な学習や活動の 拠り所となるために

私たちの自由な学習を保障し、活動の拠り所となる公民館。政治、宗教、営利に関する制約の本旨を確認しながら、「どこまで市民に開かれた公民館になれるのか？」をみんなで考えます。

周知事項 3

発掘された松本 2 0 1 9 ―松本市遺跡発掘報告会―の開催について

1 趣旨

市内の埋蔵文化財と史跡への市民の理解と関心を高めてもらうため、毎年恒例（21 回目）となった標記報告会を開催することについて、周知するものです。

2 日時 令和 2 年 2 月 1 1 日（火・祝） 1 3 時から 1 6 時 3 0 分まで

3 会場 松本市勤労者福祉センター 大会議室

4 内容

(1) 令和元年の発掘調査事例報告

ア 報告 1 上野遺跡（第 1 次）

イ 報告 2 松本城三の丸跡大名町（第 3 次）

ウ 報告 3 松本城三の丸跡土居尻（第 1 1 次）

エ 報告 4 弘法山古墳整備事業（棺護山古墳群測量調査）

(2) 講演

ア 演題 「中・近世の驚くべき土木技術」

イ 講師 帝京大学文化財研究所 研究員 畑 大介氏

ウ 内容 近年の松本市内の発掘調査により、殿村遺跡や松本城などで、中・近世の大規模な土木事業の痕跡が明らかになってきています。こうした事例を、他県の事例も交えながら解説していただきます。

5 参加料 無料

6 周知方法について

(1) 松本市公式ホームページへ掲載

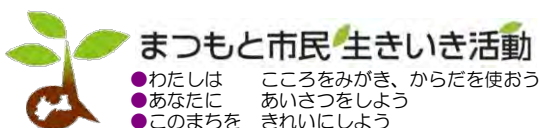
(2) 広報まつもとへ掲載

(3) 報道機関へ周知

担当 文化財課

課長 大竹 永明

電話 3 4 - 3 2 9 2



●わたしは こころをみがき、からだを使おう
●あなたに あいさつをしよう
●このまちを きれいにしよう



「学都松本へ」

教育委員会資料		
元	12	26
美	術	館

ラウル・デュフィ展の開催について

1 趣旨

20世紀前半にフランスで活躍したラウル・デュフィ（1877－1953）の作品を紹介する特別展の開催について周知するものです。

2 概要

(1) 内容

ピカソやマティスなどとともに、20世紀前半のフランスで活躍しファッションに多大な影響を与えたデュフィの代表的な絵画作品と、テキスタイル・デザインの原画や下絵、オリジナルテキスタイル、そして衣装作品などを紹介するものです。

(2) 会期 令和2年1月25日（土）から3月29日（日）まで

開館時間 9時から17時まで

(3) 会場 松本市美術館 企画展示室

(4) 観覧料 一般1,200円、大学高校生800円

前売券は各200円引き、20名以上の団体当日券は200円引き

中学生以下・障害者手帳携帯者とその介助者1名は無料

(5) 主催 松本市美術館、信濃毎日新聞社、NBS長野放送、産経新聞社

(6) 後援 在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本、市民タイムス、MGプレス

3 周知方法

(1) 広報まつもと1月号に掲載します。

(2) 市内小中学校・高校・大学、公民館、教育施設等にチラシ・ポスターを配布します。

(3) 市及び美術館公式ホームページへ掲載します。

(4) テレビCM、新聞、専門雑誌等へ広告掲載します。

担 当	美術館
副館長	小口 一夫
電 話	内線2270



まつもと市民生きいき活動

- わたしは こころをみがき、からだを使おう
- あなたに あいさつをしよう
- このまちを きれいにしよう



「学都松本」

RAOUL Dufy

色彩の画家

Maestro of Colors, Raoul Dufy:
Textile Designs Beloved of Parisiennes

ラウル デュファイ展

—パリジェンヌが愛したテキスタイル・デザイン—

2020.1.25 sat – 3.29 sun 9時～17時 (入場は16時30分まで)
月曜休館(ただし、祝日の場合は次の最初の平日)

観覧料／大人1,200円、大学高校生・70歳以上の松本市民800円 ※20名以上の団体は200円引き ※中学生以下無料、障害者手帳携帯者とその介助者1名無料
前売券／大人1,000円、大学高校生・70歳以上の松本市民600円(取扱いは1月24日まで) プレイガイド／松本市美術館、井上百貨店、こばやし画材、シナノ画房、
手塚信古堂、ローソンチケット、セブンチケット リポート割引／大人1,000円、大学高校生・70歳以上の松本市民600円 ※2回目以降の観覧料。要半券呈示。他の割引との併用不可



【主催】松本市美術館、信濃毎日新聞社、NBS長野放送、産経新聞社 【後援】在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本、市民タイムス、MGプレス
【協力】井上百貨店、松本パルコ、イオンモール松本 【企画協力】デュフィ・ピアンキーニ&ヒューマニティーズ・エクスチェンジ、株式会社テモアン

ドレス・マイ・フェア・レディ テキスタイル《薔薇と扇》ドレス・デザイン：アンソニー・パウエル 制作：モンジ・ギパン 2019年 絹 背景の作品／上《野の花(下絵)》1916-28年頃
グワッシュ・紙／中《貝殻と海の馬》1922-24年頃 金銀糸の入った錦／下《花柄の構図(デザイン原画)》1916-28年頃 グワッシュ・紙 ドレス周りの作品 右上から時計回りに
(形、模様の順)／《花と蝶(デザイン原画)》1916-28年頃、《葉》1932年以降(デザイン1923年頃) クレープ・デ・シンの絹／《薔薇(デザイン原画)》1912-22年頃、《幾何学模様の
構図(デザイン原画)》1919-28年頃 グワッシュ・紙／《花と葉(デザイン原画)》1915-25年頃、《仔象(デザイン原画)》1922-24年頃 水彩、グワッシュ・紙／《仔象(デザイン原画)》
1922-24年頃、《象(デザイン原画)》1920-22年頃 水彩、グワッシュ・紙／《貝殻と海の馬》の仕様書 1980年頃、《ヴァイオリン》1989年(デザイン1914-20年頃) 毛織物／
《薔薇》1980年、《ヨーロッパの果物》1920年頃 絹織物 文字の間の作品／《薔薇》1921年頃 絹織物 すべてデュフィ・ピアンキーニ蔵



松本市美術館
MATSUMOTO CITY MUSEUM OF ART

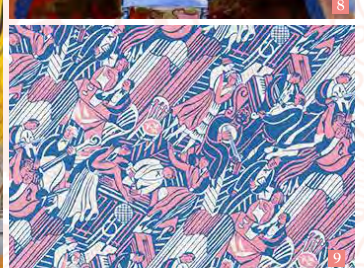
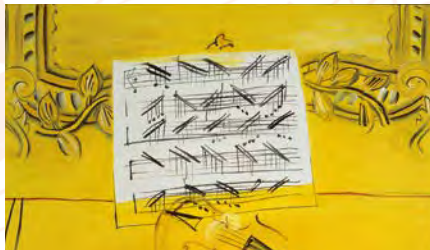
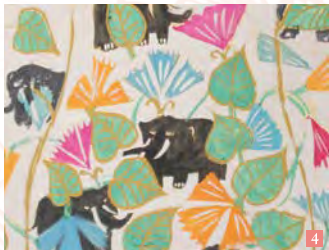
色彩の画家 ラウル・デュフィ展 —パリジェンヌが愛したテキスタイル・デザイン—

華やかで明るい色彩と軽妙な筆致の作品で、現代でも多くの人々を惹きつける画家ラウル・デュフィ(1877-1953)。本展では、モダンで優美な絵画と、モードの帝王ポール・ポワレら20世紀初頭のオートクチュールのデザイナーたちが好んで用いた絹織物を含む、デュフィのテキスタイル関連作品を一堂にご紹介します。

陽光があふれる南仏の風景をはじめ、音楽や社交界をテーマとした油彩画など「生きる喜び」に満ちた作品を描いたデュフィは、絵画制作だけでなく、テキスタイル(布地、織物)のデザインにも深く関わりました。デュフィによる鮮やかな色彩と大胆なモチーフの布地は、上流階級の女性たちを魅了し大評判になったといえます。1912年から28年には、フランス・リヨンの絹織物製造業ビアンキーニ＝フェリエ社と契約して多くのテキスタイル・デザインを提供し、当時のファッションに多大な影響を与えました。

本展は、初期から晩年までの代表的な絵画作品とともに、テキスタイル・デザインの原画や下絵、オリジナルテキスタイル、そして衣装作品などから、デュフィ芸術における優れた装飾性の本質を引き出し、その魅力に迫ります。

20世紀のフランスを彩った華やかな作品の中で、優雅な時をお過ごしただければ幸いです。



■ブラウス、スカート テキスタイル《渡》、《はてて貝》デザイン原案:ポール・ポワレ(1915年頃)制作:モンジ・ギパン 2007年 絹 ■ドレス テキスタイル《うろこ》ドレスデザイン、制作:モンジ・ギパン 2007年 絹 ■イヴニング・コート「ベルシ」テキスタイル《様式化された花、葉飾りと果物》コートデザイン原案:ポール・ポワレ(1911年)制作:モンジ・ギパン 2007年 絹 ■《象と枝葉(デザイン原画)》1925年頃 水彩、グワッシュ・紙 ■《薔薇》1980年 絹 ■《ヴァイオリン》1989年(デザイン)1914-20年頃 毛織物 ■《黄色いコンソール》1949年頃 油彩・キャンパス 大谷コレクション ■《ニースの窓辺》1928年 油彩・キャンパス 島根県立美術館蔵 ■《ダンスホール[紙の試し刷り]》1920年頃 木版・紙背景の作品／《花柄の構図[紙の試し刷りに着色]》1918-28年頃 木版、グワッシュ、水彩、色鉛筆・紙(色調を変えたもの)／上《アラム》2004年(デザイン1919年)絹 ※以外の作品はすべてデュフィ・ビアンキーニ蔵

【関連プログラム】

ミュージアムコンサート

「デュフィが愛した旋律とベル・エポックのパリの音楽」

デュフィが特に好んだ作曲家の楽曲や19～20世紀のパリで華やかに展開していた音楽とともに、デュフィ作品に関連する歌曲をお楽しみいただく、スペシャルコンサートです。

出演／塚本敦子(ピアノ)、津田裕子(ピアノ)、倉科有紀(ソプラノ)

日時／3月7日(土)14時～15時 会場／多目的ホール

料金／無料(ただし、本展観覧券が必要)

申込／2月7日(金)から松本市美術館へ(定員80名)

Cinema+Museum映画上映「ディリリとパリの時間旅行」

パリの美しい黄金時代を彩った天才たちに出会いながら、少女が事件の謎を解いていく。ベル・エポックのパリへタイムトリップするかのようなアニメ作品です。

日時／2月15日(土)13時～、2月16日(日)10時～、14時～ 会場／多目的ホール

料金／1,800円(前売1,400円)、大学高校生1,400円、中学生以下1,000円

※本展観覧券の提示で1,200円、ながの子育て家庭優待パスポートの提示で18歳以下600円

ワークショップ

「体験!シルクスカーフにパターン染め」

シルクを型紙で染めてオリジナルのスカーフを作ります。初めての方でも大歓迎です。

講師／丸山邦江(染織家、中信美術館)

日時／3月1日(日)10時～15時

会場／市民アトリエ 料金／2,000円

対象／小学生から大人まで(低学年以下は保護者同伴)

申込／2月7日(金)から松本市美術館へ(定員20名)

館長によるギャラリートーク

日時／2月1日(土)14時～

学芸員によるギャラリートーク

日時／2月22日(土)、3月14日(土)いずれも14時～

料金／無料(ただし、当日有効の本展観覧券が必要)

定員／先着20名程度、企画展示室前に集合

みんなで楽しく、トークフリーデー

3月20日(金・祝)、21日(土)、22日(日)の3日間は、気兼ねなく、親子で、お友達同士で、隣合った人同士で、お話ししながら展覧会を楽しみませんか?

子育てパパ・ママの美術鑑賞日

館内の臨時託児会場でお子様をお預かりします。

日時／2月15日(土)午後、16日(日)午前、29日(土)午後、

3月13日(金)午前・午後、3月22日(日)午前

託児時間／午前:9時30分～12時30分、午後:13時～16時

料金／当日有効の観覧券1枚につき、お子様1名無料

※2人目からは有料(1名追加につき100円)

※関連プログラムのみ参加の場合、および前売券・招待券・

割引券利用の場合は有料(お子様1名につき100円)

年齢／生後6ヶ月～未就学児

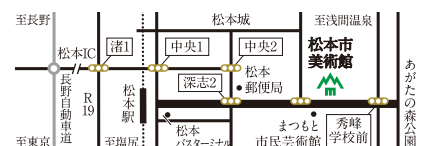
申込／先着順、希望日の3日前までに松本市美術館へ



松本市美術館
MATSUMOTO CITY MUSEUM OF ART

- 松本バスターミナルからアルピコ交通バス・横田信大循環線5分「松本市美術館」下車
- JR松本駅からタウンズユニーカー(市内周遊バス)東コース14分「松本市美術館」下車
- JR松本駅から徒歩12分 ●長野自動車道松本インターチェンジから車で15分

〒390-0811 長野県松本市中央4-2-22 TEL.0263-39-7400 FAX.0263-39-3400 <http://matsumoto-artmuse.jp>



松本市美術館館長アートレクチャーの開催について

1 趣旨

松本市美術館の教育・普及事業の一環として、小川稔館長が、日本美術のあけぼのから現在までを時代、テーマごとに解説するアートレクチャーを開催することについて周知するものです。

2 アートレクチャーの概要

(1) 事業名 松本市美術館館長アートレクチャー「よみなおし日本美術史」

(2) 内容 小川稔館長が、日本美術史を時代、テーマごとに解説します。

平成26年度からのシリーズ企画で、今回は6回にわたって江戸時代前期の絵画と工芸を取り上げます。

(3) 期日及びテーマ

期日	テーマ
1月11日(土)	狩野永徳以後の画家達—山楽・山雪を中心に
18日(土)	本阿弥光悦について—アートディレクターとしての光悦
25日(土)	俵屋宗達について—絵画の伝統と革新
2月9日(日)	近世風俗画—一人のからだと衣裳
29日(土)	様々な絵画流派—アカデミズムと逸脱
3月21日(土)	江戸前期の工芸と茶の湯—「きれいさび」の時代

(4) 会場 松本市美術館講座室

(5) 時間 13時30分から15時まで（開場は13時から）

(6) 定員 各日45人（申込み不要、当日先着順）

3 周知方法

(1) 広報まつもとへの掲載

(2) 松本市公式ホームページ、美術館ホームページへの掲載

(3) 報道機関への周知

担 当	美術館
副館長	小口 一夫
電 話	39-7400



まつもと市民生きいき活動

- わたしは ころをみがき、からだを使おう
- あなたに あいさつをしよう
- このまちを きれいにしよう



「学都松本」

松本市美術館館長アートレクチャー

よみなおし 日本美術史

其の⑤

様々な絵画流派

——アカデミズムと逸脱

2月29日(土)

其の⑥

江戸前期の
工芸と茶の湯

——「きれいさび」の時代

3月21日(土)

各日13:30~15:00

開場13:00~

興味のある回にご参加ください。

[会場] 松本市美術館 講座室

※1月25日のみ多目的ホール

[定員] 45人

[申込] 不要、当日先着順

[料金] 無料

[講師] 小川稔

(松本市美術館館長)



を取り上げます。

江戸時代前期の絵画と工芸

今回は6回にわたって

時代、テーマごとに解説します。

小川稔館長が日本美術の

あけぼのから現在までを

其の①

狩野永徳以後
の画家たち

——山楽・山雪を中心に

1月11日(土)

其の②

本阿弥光悦について

——アートディレクター
としての光悦

1月18日(土)

其の③

俵屋宗達について

——絵画の伝統と革新

1月25日(土)

其の④

近世風俗画

——人のからだと衣裳

2月9日(日)



松本市美術館

MATSUMOTO CITY MUSEUM OF ART

〒390-0811 長野県松本市中央4-2-22 FAX.0263-39-3400



◇松本バスターミナルからアルピコ交通バス・横田信大循環線5分[松本市美術館]下車
◇JR松本駅からタウンズニーカー(市内周遊バス)東コース14分[松本市美術館]下車
◇JR松本駅から徒歩12分 ◇長野自動車道松本インターチェンジから車で15分